

シラバス

科目名		電気工事实習Ⅰ		担 当 者 名		石井 義幸、間下 正、平井 宣光	
学 科		電気電子学科電気工学コース		授 業 方 法		実習	
認定単位		10単位	開 講 期			授 業 時 間 数	360時間
開講学年		1学年	必・選	必修			
授業目的		本分野の学習を通して、自ら学ぶ姿勢、幅広い視野を持つことを学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		第二種電気工事士資格に対し、知識を習得し電気工事の技能を身に着ける。単独実習ばかりでは無くグループ編成を組んだり自ら問題を作成したりする等、現場により近い授業の中で考える幅広い視野を身に着ける。					
授業概要		電気工事士資格(経済産業省)の認定に伴い、「技能試験」の知識と技能の習得を実習形式で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	Ⅰ. 工具の確認、理解及び工事の概要			19	” 14. Fケーブル工事応用回路配線 No. 9～No. 10(2人1組)”	
	2	Ⅱ. 電線の接続			20	Ⅳ. 合成樹脂線び工事実習	
	3	1. 単線の直線・分岐接続法			21	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”	
	4	2. より線の直線・分岐接続法			22	” 2. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”	
	5	Ⅲ. Fケーブル配線工事実習			23	” 3. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”	
	6	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”			24	” 4. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 5 (2人1組)”	
	7	” 2. 電灯とスイッチの回路配線1 (レセプタクルの取り付け)”			25	Ⅴ. 合成樹脂可とう管工事実習	
	8	” 3. 電灯とスイッチの回路配線2 (直角曲げ配線)”			26	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”	
	9	” 4. 電灯とスイッチ及びコンセント回路配線 (3芯Fケーブルの使用)”			27	” 2. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”	
	10	” 5. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅回路 配線”			28	” 3. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”	
	11	” 6. 電灯2灯とスイッチ2個の別々点滅回路 配線”			29	” 4. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 5～No. 6(2人1組)”	
	12	” 7. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線1”			30	” 5. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 7 (2人1組)”	
	13	” 8. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線2”			31	Ⅵ. 総合応用工事実習	
	14	9. 電灯と3路スイッチ回路配線			32	” 1. 総合応用工事回路配線 No. 1～No. 2 (6～9人1組)”	
	15	” 10. Fケーブル工事応用回路配線 No. 1～No. 2 (2人1組)”			33	” 2. 総合応用工事回路配線 No. 3～No. 4 (6～9人1組)”	
	16	” 11. Fケーブル工事応用回路配線 No. 3～No. 4 (2人1組)”			34	” 3. 総合応用工事回路配線 No. 5～No. 6 (6～9人1組)”	
	17	” 12. Fケーブル工事応用回路配線 No. 5～No. 6 (2人1組)”			35	” 4. 総合応用工事回路配線 No. 7～No. 8 (6～9人1組)”	
	18	” 13. Fケーブル工事応用回路配線 No. 7～No. 8 (2人1組)”			36	” 5. 総合応用工事回路配線 No. 9～No. 10(6～9人1組)”	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期、後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート		0%	成績評価	出席率:80%以上 成績:S90～100点、A80～89点、B70～79点 C60～69点、 D59点以下(不合格)	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>0%					
講師プロフィール		(平井宣光)電気工事資格や中学／高校教員資格を有し、中学／高校講師としての経験を持つ。 (石井義幸)高圧電気設備の電気主任技術者として保守管理をしており、屋内配線工事及び自家用電気工作物等も手がけている。 第3種電気主任技術者、第一種電気工事士を有す。 (間下 正)長年電気工事業に従事し、職業訓練指導員免状(電気科)を有し、電気工事士国家試験(第2種、第1種)受験講師を務める。第1種電気工事士免許を有す。					

シラバス

科目名		電気工事实習Ⅰ		担当 者 名		石井 義幸、間下 正、平井 宣光	
学 科		電気電子学科電子技術コース		授業方法		実習	
認定単位		10単位	開 講 期			授 業 時 間 数	360時間
開講学年		1学年	必・選	必修			
授業目的		本分野の学習を通して、自ら学ぶ姿勢、幅広い視野を持つことを学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		第二種電気工事士資格に対し、知識を習得し電気工事の技能を身に着ける。単独実習ばかりでは無くグループ編成を組んだり自ら問題を作成したりする等、現場により近い授業の中で考える幅広い視野を身に着ける。					
授業概要		電気工事士資格(経済産業省)の認定に伴い、「技能試験」の知識と技能の習得を実習形式で行う。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	Ⅰ. 工具の確認、理解及び工事の概要			19	” 14. Fケーブル工事応用回路配線 No. 9～No. 10(2人1組)”	
	2	Ⅱ. 電線の接続			20	Ⅳ. 合成樹脂線び工事実習	
	3	1. 単線の直線・分岐接続法			21	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”	
	4	2. より線の直線・分岐接続法			22	” 2. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”	
	5	Ⅲ. Fケーブル配線工事実習			23	” 3. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”	
	6	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”			24	” 4. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 5 (2人1組)”	
	7	” 2. 電灯とスイッチの回路配線1 (レセプタクルの取り付け)”			25	Ⅴ. 合成樹脂可とう管工事実習	
	8	” 3. 電灯とスイッチの回路配線2 (直角曲げ配線)”			26	” 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”	
	9	” 4. 電灯とスイッチ及びコンセント回路配線 (3芯Fケーブルの使用)”			27	” 2. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”	
	10	” 5. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅回路 配線”			28	” 3. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”	
	11	” 6. 電灯2灯とスイッチ2個の別々点滅回路 配線”			29	” 4. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 5～No. 6(2人1組)”	
	12	” 7. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線1”			30	” 5. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 7 (2人1組)”	
	13	” 8. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線2”			31	Ⅵ. 総合応用工事実習	
	14	9. 電灯と3路スイッチ回路配線			32	” 1. 総合応用工事回路配線 No. 1～No. 2 (6～9人1組)”	
	15	” 10. Fケーブル工事応用回路配線 No. 1～No. 2 (2人1組)”			33	” 2. 総合応用工事回路配線 No. 3～No. 4 (6～9人1組)”	
	16	” 11. Fケーブル工事応用回路配線 No. 3～No. 4 (2人1組)”			34	” 3. 総合応用工事回路配線 No. 5～No. 6 (6～9人1組)”	
	17	” 12. Fケーブル工事応用回路配線 No. 5～No. 6 (2人1組)”			35	” 4. 総合応用工事回路配線 No. 7～No. 8 (6～9人1組)”	
	18	” 13. Fケーブル工事応用回路配線 No. 7～No. 8 (2人1組)”			36	” 5. 総合応用工事回路配線 No. 9～No. 10(6～9人1組)”	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期、後期 成績表送付 出席率:80%以上 成 績:S90～100点、A80～89点、B70 ～79点 C60～69点、D59点以下(不合格)	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート		0%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実習型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		〈平井宣光〉電気工事資格や中学／高校教員資格を有し、中学／高校講師としての経験を持つ。 〈石井義幸〉高圧電気設備の電気主任技術者として保守管理をしており、屋内配線工事及び自家用電気工作物等も手がけている。 第3種電気主任技術者、第一種電気工事士を有す。 〈間下 正〉長年電気工事業に従事し、職業訓練指導員免状(電気科)を有し、電気工事士国家試験(第2種、第1種)受験講師を務める。第1種電気工事士免許を有す。					

シラバス

科目名	電気工事实習Ⅰ		担当 者 名	石井 義幸、間下 正、平井 宣光	
学 科	電気電子学科大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	10単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	360時間
授業目的	本分野の学習を通して、自ら学ぶ姿勢、幅広い視野を持つことを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第二種電気工事士資格に対し、知識を習得し電気工事の技能を身に着ける。単独実習ばかりでは無くグループ編成を組んだり自ら問題を作成したりする等、現場により近い授業の中で考える幅広い視野を身に着ける。				
授業概要	電気工事士資格(経済産業省)の認定に伴い、「技能試験」の知識と技能の習得を実習形式で行う。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容
	1	Ⅰ. 工具の確認, 理解及び工事の概要		19	“ 14. Fケーブル工事応用回路配線 No. 9～No. 10(2人1組)”
	2	Ⅱ. 電線の接続		20	Ⅳ. 合成樹脂線び工事実習
	3	1. 単線の直線・分岐接続法		21	“ 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”
	4	2. より線の直線・分岐接続法		22	“ 2. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”
	5	Ⅲ. Fケーブル配線工事実習		23	“ 3. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”
	6	“ 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”		24	“ 4. 合成樹脂線び工事回路配線 No. 5 (2人1組)”
	7	“ 2. 電灯とスイッチの回路配線1 (レセプタクルの取り付け)”		25	Ⅴ. 合成樹脂可とう管工事実習
	8	“ 3. 電灯とスイッチの回路配線2 (直角曲げ配線)”		26	“ 1. 基礎知識、施工方法、配線用材料、 配線回路の説明”
	9	“ 4. 電灯とスイッチ及びコンセント回路配線 (3芯Fケーブルの使用)”		27	“ 2. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 1～No. 2(1人1組)”
	10	“ 5. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅回路 配線”		28	“ 3. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 3～No. 4(2人1組)”
	11	“ 6. 電灯2灯とスイッチ2個の別々点滅回路 配線”		29	“ 4. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 5～No. 6(2人1組)”
	12	“ 7. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線1”		30	“ 5. 合成樹脂可とう管工事回路配線 No. 7 (2人1組)”
	13	“ 8. 電灯2灯とスイッチ1個の同時点滅及び PL回路配線2”		31	Ⅵ. 総合応用工事実習
	14	9. 電灯と3路スイッチ回路配線		32	“ 1. 総合応用工事回路配線 No. 1～No. 2 (6～9人1組)”
	15	“ 10. Fケーブル工事応用回路配線 No. 1～No. 2 (2人1組)”		33	“ 2. 総合応用工事回路配線 No. 3～No. 4 (6～9人1組)”
	16	“ 11. Fケーブル工事応用回路配線 No. 3～No. 4 (2人1組)”		34	“ 3. 総合応用工事回路配線 No. 5～No. 6 (6～9人1組)”
	17	“ 12. Fケーブル工事応用回路配線 No. 5～No. 6 (2人1組)”		35	“ 4. 総合応用工事回路配線 No. 7～No. 8 (6～9人1組)”
	18	“ 13. Fケーブル工事応用回路配線 No. 7～No. 8 (2人1組)”		36	“ 5. 総合応用工事回路配線 No. 9～No. 10(6～9人1組)”
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期、後期 成績表送付
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		0%	成績評価	出席率:80%以上 成 績:S90～100点、A80～89点、B70 ～79点 C60～69点、D59点以下(不合格)
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体験型学習≫0%				
講師プロフィール	〈平井宣光〉電気工事資格や中学／高校教員資格を有し、中学／高校講師としての経験を持つ。 〈石井義幸〉高圧電気設備の電気主任技術者として保守管理をしており、屋内配線工事及び自家用電気工作物等も手がけている。 第3種電気主任技術者、第一種電気工事士を有す。 〈間下 正〉長年電気工事業に従事し、職業訓練指導員免状(電気科)を有し、電気工事士国家試験(第2種、第1種)受験講師を務める。第1種電気工事士免許を有す。				